

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 BNB	 Dogecoin	 Mantle
中堅	 Aerodrome Finance	 Plume	 Velo
新規	 Avantis		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 9/19

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#5	 BNB	Layer1	¥20,416,552,238,081	¥146,684.54	4.01倍 (ETH比)	10.94%
#8	 Dogecoin	Memes	¥6,214,335,250,602	¥41.15	—	12.17%
#26	 Mantle	Layer2	¥802,780,161,069	¥246.78	—	3.7%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+2.14%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

BNB：BNB（GOOD）

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：規制リスク後退とリアル資産連携の二つの好材料

9/17 BNBを発行するバイナンスが米司法省との和解条件の見直しを進めていると報道され、規制リスクが低下するとの期待から価格が史上最高値付近まで上昇しました。また、9/10には資産運用大手のFranklin Templeton（運用資産約1.6兆ドル）と提携し、不動産や債券など実世界の資産をトークン化して取引できる仕組みを準備中。規制リスクの軽減と実際の用途が広がることで、中長期的には需要が安定し価格の底上げにつながりやすいです。ただし、再び規制問題がニュースになったり、市場全体が悪化すると、価格の調整も考えられます。

AIによる相場分析：BNB

BNBは現在986ドル（約15万円）付近で推移しています。短期的には1,000ドル（約15.3万円）が上の壁となり、下は975ドル（約14.9万円）や960ドル（約14.7万円）が支えになりそうです。長い目で見ると上昇の流れが続いていますが、今は買われすぎの傾向もあるため、押し目での購入が安心と考えられます。

Dogecoin : DOGE (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：ETF承認で投資マネーの流入期待

9/18 REX-Osprey社のDOGEのETF「DOJE」が米国のCboe取引所でスタート。9/15には企業のCleanCoreが1億DOGEを追加購入(合計6億DOGE[約241億円]保有)し、17日には機関投資家も価格が下がったタイミングで買い増したと報道。今後は他社のETF審査が注目ポイントで、特に規模の大きいGrayscale社が11月頃にETFを承認すれば、大きな資金が入りやすくなるでしょう。ただし、審査遅延や景気悪化があれば、一時的な価格の下落にも注意が必要です。

AIによる相場分析：DOGE

現在のDOGEは1枚あたり約0.28ドル（約42円）で推移しており、0.27ドル（約41円）付近が下値の支え、0.29ドル（約43円）が上値の壁となっています。もし0.29ドル（約43円）を超えれば0.30ドル（約45円）以上も狙える一方、0.27ドル（約41円）を下回ると0.26ドル（約39円）付近まで下落の可能性があります。全体的にはやや上昇に向かう力が優勢です。

Mantle : MNT

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：技術改善（ZKロールアップ移行）と取引所対応で利用拡大へ

9/17 MantleはネットワークをZKロールアップという新技術にアップグレードしました。手数料は約0.002ドルと格安になり、レイヤー2の基盤となるレイヤー1の最終確定時間も大幅に短縮されました（従来約7日から16時間へ）。9/12には仮想通貨取引所BybitでMNTが他の通貨と取引できるペアが21種類追加され、利用しやすくなっています。この技術改善でMantleはさらに多くのアプリや投資マネーを呼び込みやすくなり、中長期では手数料収入が増えて価格を支える可能性が高まります。一方で、同じような他のプロジェクトとの競争が激しくなったり、投資家による売り圧力が強まった場合は価格が伸び悩む可能性があります。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 9/19

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数、RSIを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#75	 Aerodrome Finance	DEX	¥174,584,570,174	¥194.52	16.53倍 (HYPE比)	12.16%
#163	 Plume	Layer1	¥46,699,140,556	¥17.62	422.76倍 (SOL比)	6.09%
#180	 Velo	RWA	¥39,876,141,646	¥2.27	12.33倍 (ONDO比)	5.72%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+2.14%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Aerodrome Finance : AERO (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：トークン発行量を抑え価値を高める取り組み

9/16 AEROの 新規発行を減らすための投票が開始され、長期間トークンを持つ人が報酬を得られる仕組みも始まりました。この試みにより発行量が減ればトークンの希少性が上がり、一人当たりの報酬や取引所としての取引量増加が期待されます。順調に投票が進めば中長期的に資産規模や収益が安定的に伸びやすくなります。ただし、報酬が減ることによって一部の参加者が去るリスクもあり、その場合一時的に取引が少なくなる可能性もあります。

AIによる相場分析：AERO

AEROは現在1.31ドル（約197円）付近で推移しており、下は1.30ドル（約195円）や1.25ドル（約188円）が支えとなっています。上は1.35ドル（約203円）を超えると、1.39ドル（約209円）や1.50ドル（約225円）まで伸びる可能性があります。大きな流れは上向きで、押し目は買い場になりやすい状況です。

Plume : PLUME (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：機関投資家の参加で実際の需要が拡大

9/16 Plumeは金融企業Apollo(運用資産約600億ドル)と提携した新サービスを開始し、幅広い種類の債権（企業への融資、担保付きローン、割安債券など）をトークン化し売買できる仕組みを提供。投資会社Grove（Sky Ecosystem傘下、運用資産25億ドル）が5,000万ドルを出資しました。9/17 韓国の手取引所Upbitに上場され、アジア地域の個人投資家からの資金流入も期待できます。この仕組みが利用されるほど手数料収入や資産規模が増えるため、中長期的には案件の増加と実績がカギになります。

AIによる相場分析：PLUME

PLUMEは現在0.118ドル（約18円）付近で動き、短期では0.116ドル（約17.6円）が下支え、上は0.122ドル（約18.5円）を超えるかが焦点です。ここを抜ければ0.132ドル（約20円）まで上昇余地がありますが、割れると0.110ドル（約16.7円）付近まで下がる可能性があり、慎重な判断が必要です。

Velo : VELO

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：ASEAN地域の決済利用 & 米国債を活用した資金運用サービス

9/12 VeloはLightnetとOpenEdenとの共同で、東南アジア地域での決済サービスと米国債を使った資金運用サービスを開始すると発表しました。これは安全な米国債を裏付けにした、企業や金融機関向けの送金・決済の仕組みで、実際の利用が増えるほどトークンの価値が支えられます。ただし、9/20 前後に大量のトークンが市場に出るため、短期的な価格の下落リスクがあります。今後、実際に利用される事例が増えれば価格上昇につながりますが、景気悪化や導入の遅れで一時的に調整が起こる可能性にも注意が必要です。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 9/19

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#167	 Avantis	DEX	¥44,258,559,139	¥171.40	65.22倍 (HYPE比)	—



Avantis : AVNT

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：世界的大手取引所への上場と無料配布で人気化

9/9より大手仮想通貨取引所（Binance、Upbit、Bithumb）に上場。16日にはBinanceユーザーに対して約1,000万枚（全体の約1%）が無料で配られました。さらにBinanceが貸付サービスの担保として認めたことで、ユーザーがAVNTを使って資金を借りたりリスク管理することも可能となりました。

本プロジェクトは、米コインベースが関わるBaseネットワーク上に構築された分散型の永久先物取引所であり、現在好調なHyperliquidと同ジャンルのBaseネットワーク版として、現状はTVLも低いですが今後シェアを拡大できるか注目されている新規銘柄となります。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>